

清流のほとり

みどり病院／すこやか診療所 広報誌

□発行責任者／病院長 松井 一樹
□編集 集／みどり病院管理委員会
□発行 行／2026年1月1日 第90号

2026年「新年明けましておめでとうございます」

みなさま、「新年あけましておめでとうございます」

まず、「地域住民の医療を受ける権利を保障するために医療機関の維持存続への支援を求める請願署名」へのご協力・ご支援ありがとうございます。改めて、感謝申し上げます。



さて、昨年は皆様にとってどんな1年でしたか？

看護部では「その人らしく暮らす（生きる・生活する）」ことを支える看護実践を大切にしてきました。2025年度は「ACP」（将来の医療・ケアについて、本人を尊重した意思決定を支援するプロセス）について、改めて学習会を行い「思いをつなぐ」事を意識した取り組みが各部署で取り组まれました。一部ご紹介します。

「もしバナ」カードを用いたゲーム（ゲームを通し、自身の大切にしていることを再確認すると同時に他者の大切にしていることを知る事ができます）や、「私のこころづもり」（医療・ケアについての希望や思いを大切な人や医療・介護スタッフと共に話し合い、最後まであなたらしく豊かに生きることを一緒に考えるためのツールです）をお渡しして、繰り返し考え、気持ちを教えていただく機会を作っています。2026年度は班会でも「もしバナ」カードを用いた取り組みを行っていきたいと考えています。是非、ご参加ください。

また、みどり病院では「ケアの倫理」について継続的に学習を行ってきました。その中で、「ケア」とは人が生きていく上で欠かせないもので、すべての人がケアしケアされる存在であることを学びました。共同組織の皆さんによる地域活動・職員どうしの気遣い・気になる患者さんへの関わり・市民の要求に応える政治もすべて、「ケア」となります。ケアがあふれた社会にしたいですね。

しかし、国会では「2025年度中に防衛費を2%に引き上げる！」「武器輸出緩和」「医療費削減政策・病床削減推進・OTC類似薬の公的医療保険適用見直し」などが議論されています。ますます、政治への働きかけ（ケア）が必要です。

2040年（団塊の世代ジュニアが75歳となる）に向け、医療費抑制政策はさらに加速していくと思われます。「この地域で暮らし続ける」ために地域の方々と一緒に考え、取り組みを行っていきたいと考えています。

しかし、看護師・ケアワーカーをはじめ、病院職員の不足は継続しています。「無差別平等の医療」に興味がある方、いっしょに取り組んでみませんか。職員大募集中です。ご紹介も大歓迎です。お待ちしております。

本年もよろしくお願い申し上げます。

2026年 元旦

みどり病院総師長 宇野麻子



みどり病院 〒501-3113 岐阜市北山 1-13-27 TEL (058) 241-0681

予約専用フリーダイヤル (0120) 489-760 平日 8:20~11:30

すこやか診療所 〒501-3113 岐阜市北山 1-13-11 TEL (058) 243-0791

↑みどり病院ホームページはこちら